

令和7年度 事業報告

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

我が国の経済は、長期的なデフレ傾向からの脱却を進めつつ、緩やかな回復基調を維持しています。一方、物価と賃金がともに上昇する「成長志向型経済」への転換が進んでいる中で、物価上昇が個人消費に与える影響は大きく、特に食料品価格の上昇が家計を圧迫している点が課題として指摘されています。また、エネルギー価格や原材料費、郵送費の上昇を背景に、社会全体でデジタル化が急速に進展しています。

こうした中、センターにおいても経費削減や事務の効率化、情報を受取るセンター会員の負担軽減を目指しデジタル化を推奨して参りました。会員専用のWEBコミュニケーションツール「Smile to Smile」への登録を全会員に案内し、システムの登録が不得意な会員に向けて、月に3、4日の登録会を開催するとともに、月2回スマホアドバイザーを招いてスマホなんでも相談会を開催しました。その結果、令和7年度末において「Smile to Smile」の登録者が新たに136名増加し、212名の登録者数となりました。

そして配分金明細書と毎月発行の事務局だよりについても、紙発行から「Smile to Smile」と当センターHPといったデジタル発行への切り替えを行い、財政面において国の運営費補助の削減や諸物価の高騰対策、さらに将来に向けた経費削減や事務の効率化に取り組んで参りました。

当センターへの入会手続きについても、24時間入会申込みが可能なWEB入会システムを構築し、令和7年度中に22名の方にご利用いただき16名が会員登録をされました。退会抑制については、仕事以外のセンターの新たな活動機会の創出の一つとして、サークルの活性化を目的に公式Instagramを用いて、会員同士が交流、活躍される姿を発信して参りました。令和7年度に発足した健康麻雀サークルは発足時の13名だったものの、令和8年3月末では26名の会員数となりました。一方、WEB入会システムの活用などにより新規入会者が47名あったものの、病気等を理由とされ64名の会員が退会し、昨年度末比では17名減少し379名となりました。

また、会員の安全面については、就業途上における交通事故防止や日頃からの健康維持を目的とした「交通安全講習会兼健康体操事業」を開催し、安全意識の高揚と注意喚起、自身の体力の変化による転倒防止に取り組みました。さらに、植木作業班及び清掃作業班を対象とした転倒事故防止研修を開催し、安全動画の視聴や体力測定を行いました。

会員の皆様のご協力と発注者及び関係機関等のご支援に深く感謝申し上げます、ここに令和7年度の事業計画に基づいた事業が終了しましたのでご報告申し上げます。

1、基本方針

- (1) 第4期事業推進5カ年計画の推進
- (2) 会員の増強と退会抑制

- (3) 多様な働き方の推進と公平・適正な就業機会の提供
- (4) 安全就業の徹底
- (5) 普及啓発活動の実施
- (6) 事務局体制の強化と運営基盤の強化

2、実施報告

(1) 第4期事業推進5カ年計画の推進

ア、事業推進5カ年計画（令和7年度～令和11年度）に基づき計画を実行するために、毎月1回理事会を開催し専門部会や委員会等の情報を共有して推進して参りました。

（表1－1）

イ、事業推進5カ年計画による目標値を達成することは出来ませんでした。（表1－2）

（表1－1）

理事会	開催日	協議事項
第 1 回	4月28日（月）	1) 正会員入会の承認について 2) 賛助会員入会の承認について 3) 公益社団法人吉川市シルバー人材センター 給与規程の一部改正について 4) 第52回定時総会について
第 2 回	5月26日（月）	1) 正会員入会の承認について 2) 令和6年度収支補正予算の承認について 3) 令和6年度事業報告の承認について 4) 令和6年度収支決算の承認について 5) 理事及び監事候補者の選考について 6) 第4期事業推進5カ年計画の制定について 7) プロジェクトチーム設置要綱の制定について 8) センターのデジタル機能強化について
第 3 回	6月24日（火）	1) 三役の選定について 2) 正会員入会の承認について 3) 賛助会員入会の承認について 4) 専門部会の所属について 5) 安全管理委員会の所属について 6) 就業適正化委員会の所属について 7) 設立40周年記念式典について 8) 安全就業推進大会の出席について
第 4 回	7月30日（水）	1) 正会員入会の承認について 2) 理事の利益相反取引に関する承認について
第 5 回	8月28日（木）	1) 正会員入会の承認について 2) 賛助会員入会の承認について 3) 埼玉県最低賃金改正に伴う配分金及び会員

		業務委託料の見直しについて 4) 材料費の見直しについて
第 6 回	9 月 3 0 日 (火)	1) 正会員入会の承認について 2) 事務所修繕計画について
第 7 回	1 0 月 3 0 日 (木)	1) 正会員入会の承認について
第 8 回	1 1 月 2 7 日 (木)	1) 正会員入会の承認について
第 9 回	1 2 月 2 2 日 (月)	1) 正会員入会の承認について 2) 令和 7 年度役員・事務局長合同研修会の開催について 3) 第 5 3 回定時総会及び設立 4 0 周年記念式典の開催計画について
第 1 0 回	1 月 2 8 日 (水)	1) 正会員入会の承認について 2) (公社) 吉川市シルバー人材センター給与規程の一部改正について 3) 役員賠償責任保険加入の承認について 4) 就業に関する経過について
第 1 1 回	2 月 2 4 日 (火)	1) 正会員入会の承認について 2) 清掃ボランティア活動 (仮) について
第 1 2 回	3 月 2 4 日 (火)	1) 正会員入会の承認について 2) (公社) 吉川市シルバー人材センター連絡員経費規程の廃止について 3) 特定費用準備資金の保有について 4) 令和 8 年度事業計画の承認について 5) 令和 8 年度収支予算の承認について

(表 1 - 2)

項 目	目 標 値	実 績	達 成 率
正会員数	4 4 0 人	3 7 9 人	8 6 . 1 %
就業率※	9 0 %	9 1 . 2 %	1 0 1 . 3 %
就業延べ人員	5 0 , 4 5 0 人日	4 8 , 3 5 0 人日	9 5 . 8 %
受注件数	1 , 3 5 8 件	1 , 0 4 1 件	7 6 . 6 %
契約金額	1 9 2 , 3 5 0 千円	1 9 5 , 9 2 6 千円	1 0 1 . 8 %

※ (請負業務の実人員 + (派遣業務の実人員 - 請負業務兼務実人員) ÷ 年度末会員数
3 2 0 名 + (3 7 名 - 1 1 名) ÷ 3 7 9 名

(2) 会員の増強と退会抑制

ア、毎月 1 回、リアル入会希望者説明会を開催し、また入会申込者の負担軽減が図れるよう WEB 入会の仕組みを整備しました。

イ、正会員の退会抑制については、事務局窓口で退会理由を確認し、希望があれば就業

職種の転換や仕事情報の説明、さらにサークル活動など仕事以外の活動案内に取り組みました。

ウ、女性会員を主体とした「すまいるれでいーす」（女子会）の活動を発信し、女性会員の増強に努めました。

(3) 多様な働き方の推進と公平・適正な就業の提供

ア、入会希望者説明会において適正就業ガイドラインを全員に配布し、就業の基準に基づき、対象業務のローテーション就業及び派遣業務の獲得に取り組み適正就業を推進しました。（表3-1、表3-2）

イ、仕事情報を掲載した事務局だよりを全会員に発行し、またホームページに仕事情報を掲載し公平な就業機会の提供に取り組みました。

ウ、独自事業を実施しました。（表3-3）

(表3-1)

派遣先	就業会員	就業延べ人員	事業実績
環境センター	10人	706人日	2,932,733円
第1保育所	3人	242人日	1,835,899円
第2保育所	2人	242人日	1,835,899円
民間業務	12人	2,051人日	11,776,361円
合 計	27人	3,241人日	18,380,892円

(表3-2)

項 目	開催数	参加人数	就業人数（交替含む）
就業面接会	2回	32人	15人
未就業相談会	11回	5人	3人
合 計	13回	37人	18人

(表3-3)

事 業	回 数	就業延べ人員	契約金
野菜販売事業	13回	1,277人日	601,850円
手芸販売事業	1回	70人日	34,730円
合 計	14回	1,347人日	636,580円

(4) 安全就業の徹底

ア、安全・適正就業強化月間（7月）に安全ニュースを発行し、会員の事故防止と注意喚起に取り組みました。

イ、除草、剪定及びアフタークリーニング作業においては安全保護具（ヘルメット、安全チョッキ、安全帯等）の貸し出しと併せ、着用徹底など安全就業に取り組みました。

ウ、会員の健康維持と交通事故防止を目的とし、健康体操事業並びに交通安全講習会を開催しました。また自転車用反射材を配布し夜間時などの事故防止に取り組みました。

エ、会員の体力や年齢及び夏季の熱中症対策として、時期における作業時間の制限を行いました。

(5) 普及啓発活動の実施

- ア、会員参加型のInstagramを定期的に発信しました。
- イ、広報誌「シルーよしかわ」第62号（8月）、第63号（1月）を発行しました。
- ウ、あいあい傘事業の推進とボランティア活動を実施しました。
- エ、第5回シルバー人材センターまつりを開催し、啓発活動に取り組みました。
- オ、センター事業を定期的にHPに掲載し情報発信に取り組みました。

(表5-1)

内 容	回 数	延べ人員	備考
あいあい傘事業	43回	43人日	
慰問活動	10回	25人日	
ふれあい広場	1回	3人日	
清掃ボランティア活動	1回	23人日	
合 計	55回	94人日	

(6) 事務局体制の強化と運営基盤の強化

- ア、役員の次期改選に併せ女性会員の登用に取り組みました。
- イ、運営費の節減とシステムを活用した事務の簡素化に取り組みました。
- ウ、諸物価等の高騰による支出等費用を抑制するため、「Smile to Smile」を活用し、全会員に対して利用登録を推進しました。
- エ、包括的な契約方法への見直しを行ない、新たな会計方式を適正に行う為のシステム整備と各種研修会等に参加し情報収集と研鑽に取り組みました。
- オ、継続的、安定的な組織運営を確保するため職員の定期健康診断を実施しました。
- カ、フリーランス新法施行に伴う、デジタル化の推進による事務の効率化、簡素化に取り組みました。